

右利きの安藤さんと 左利きの高橋さん

教えて！技術向上のこと

4/24(金)から予選がスタートし、全国各地で熱い戦いが繰り広げられている『キーパー技術コンテスト』。皆さんの技術向上のために、過去の全日本チャンピオンの中でもファンが多い安藤祐子さんと高橋美帆さんの施工動画制作を企画。撮影現場にお邪魔し、突撃インタビューをしました！



第4回・第7回チャンピオン

安藤 祐子さん

2012年にキーパーコーティングに出会い、2016年に1級取得。同年のキーパー技術コンテストに出場、全日本チャンピオン戦進出するも全日本9位に。翌年に初の女性全日本チャンピオンとなる。

のチャンピオン動画観ていました(笑)。動画内で安藤さんが「無駄を省くのが一番です」と言っていたので真似をしようと思っても、手足の長さが違うので私には無理でした。マニュアルを守った上で、安藤さんがやりやすいように自分で改良されているのが分かりました。右利きか左利きかは単純に反転すればいいのでそれほど変わりはありません。

――高橋さんがおっしゃるとおり、マニュアルに加えて無駄なく施工するために安藤さんが意識していることはありますか？

A: 手洗い洗車とコーティングの施工するときの体幹をなるべく近づけるようにしています。手洗い洗車はムートンをつけて両手で支えますが、コーティングはスポンジやタオルを持って片手で支えるので、けっこう身体がブレます。どれくらい足を開いたら安定するのかを自分で探っています。

第9回チャンピオン

高橋 美帆さん

2018年にキーパー技術コンテスト初出場、コロナ禍を経て、2022年に全日本チャンピオン戦初出場で全日本5位に、翌2023年全日本3位、2024年に念願の全日本チャンピオンを獲得する。

――マニュアルを守りつつも、自分が早く、効率よく施工できるフォームを見つけることも技術向上させるポイントなんですね。そこまで極めようとするのはなぜですか？

A・T: 負けず嫌だからです！(笑)

T: 自分が力を注いできたことに対しては誰にも負けたくない、それだけです。

A: 私もただ負けたくないという気持ちで来て、気がつけばお客様が選んで来ていただいていたという感覚です。

――負けず嫌いといえども、キーパーが好きという気持ちがないとここまでできませんよね。

T: キーパーは、目に見えて車がキレイになってお客様が喜んでいただけるサービスです。それに私の技術を発揮できることにやりがいを感じているし、本当に好きです。



――安藤さんは2026年に1級資格を取って、翌年2027年のキーパー技術コンテスト(以下コンテスト)で全日本チャンピオンになったんですね？なんですか？

安藤さん(以下A): 2026年にもコンテストに出場して予選は150点ギリギリ、全日本チャンピオン戦(以下全日本戦)の決勝まで行ったものの9位だったんですよ。入賞は6位までしか前に呼ばれないじゃないですか？カメラのレンズが向いている方が輝いていて、私はカメラマンさんの背中しか見えません。それがとても悔しくて、でも県チャンピオンをいただいたことで、それまで自分やスタッフの車でしか練習ができなかったのが、お客様がたくさん来てくれる施工台数が増え、たくさんの方に触れることができるようになり、コンテスト用に練習するのではなく、普段の施工で技術を磨くことができるようになりました。

――高橋さんも全日本戦5位、3位、そして全日本チャンピオンと着実に駆け上がりましたが、どうしてですか？

高橋さん(以下T): 初めて県チャンピオンをいただくまでは全然芽が出なくて、安藤さんのチャンピオン動画見たり、いろんな人に教えてもらったりしても、自分の施工が見つけれず、「向いていないのかも」「センスがないのかも」と悩んでいました。でもある方のアドバイスで、施工がガラッと変わったんです。これまで横面を上から縦に見ていたのですが、「横から手元を見て」とのアドバイスをもらって、フォームを横の施工に変えた瞬間に、行き届いていなかったところが見えるようになり、そこから精度が急上昇して点数がポンと上がりました。

――安藤さんは女性初の全日本チャンピオンを獲得されて、ファンの方が多いですね。カリスマというか。

T: 私も大ファンで、毎日寝落ちするまで、安藤さん



A: コンテストで優勝するためじゃなくて、やはりその先にお客様の喜びがあるからこそ頑張れるのだと思います。

――お2人は、コンテストで緊張するんですか？

A: それは緊張しますよー！ 始まる前にお腹が痛くなって、同じ会社の人に薬買ってきてもらったこともあります。それ以降、試合前には食べすぎないようにするなど食事に気をつけています。

T: 「緊張していません」って言うって選手いるけど「私の緊張、分けましょうか？」って思います(笑)。でも緊張していた方がゾーンに入りやすいかな。

A: それはあるかも。あとは緊張していても自然に身体が動くくらいまで、動きを叩き込むこと、場数を踏むことも大事だと思います。

――年々、コンテストのレベルが上がってきてコンマ1レベルの戦いになっています。僅差の勝負に勝つためにはどうしたらいいですか？

A: 「ミスをしないうちに」とかじゃなくて「ここは3回拭いて終わらすぞ」とか「間が空きそうだから1本多く塗ろうかな」とか前向きに攻めのモチベーションを持つことだと思います。

T: 優勝した年の決勝前に「今年負けたら後はないんだから、腹括って思い切り施工してこい。それができなければ技術があっても勝てない」と言われました。腹括って割り切って自分のいつもの施工ができた結果、優勝をすることができました。

――最後にコンテストに出場する選手たちに向けてメッセージをお願いします。

A: 私は、最初は予選で150点ギリギリの人でした。練習したら絶対にうまくなりますと断言して伝えたいです。

T: 結果がすぐ出る人はほとんどいません。絶対にうまくなるぞという強い意志のもと、心が折れても、折れても、負けずに頑張ってください。諦めたらチャンピオンになれません！



安藤さんと高橋さんの施工動画を撮影！施工の奥義を動画公開前に少しお見せします！

安藤さんのフレッシュキーパー、高橋さんのダイヤⅡキーパー1台施工動画の他、右利きの安藤さんと左利きの高橋さんが同時にダイヤⅡキーパーをプリウスに施工し、定点カメラとハンドカメラで撮影。賀来社長が施工のポイントをお2人に質問するインタビューなども撮影し、見応え十分！動画公開前にちょっとだけ、安藤さん・高橋さんの施工の奥義をお見せします！

Q.爆ツヤのポイント？

安藤さん: 原液を隙間に入れないように気をつけながら、端から端までしっかり塗って、しっかりと汚れを落としています。

高橋さん: 手数に無駄があるのはダメですが、手数がちょっと重なったとしても、端から端までもれなく塗布し、きちんと汚れを落とすことを重視します。

Q.ダイヤモンドキーパーケミカルの塗りのポイントは？

安藤さん(フレッシュ施工): 2工程目のときに、しっかり定着ができているかどうか見ます。できているとするとしていますが、できてないとジトっとした状態になります。

高橋さん(ダイヤⅡ): スポンジ圧をずっと均等にさせる意識をしています。横で100%埋めて、さらに縦で埋めて、塗り漏れがないようにしています。

Q.レジンの塗りのポイントは？

安藤さん(フレッシュ施工): まず液を横に下ろして、普通は上に戻って縦を入れますが、私は横に行って下のプレスラインを埋め、下から縦を入れて最後に枠を取り、[]の動きを1回省略しています。

高橋さん(ダイヤⅡ): 下まで圧がかかるように、身体と手との距離を一緒に滑らせるようにして、目線をずっと下げていきます。

Q.「最終チェック」で特に気をつけなければいけないポイントは？

安藤さん: 自分が残しやすいところを「知っている」ことです。

高橋さん: 「上面」をやって、「横面」をやって、最後に「窓・樹脂・レンズ」を拭く、という順番を絶対に守るようにしています。



動画はKeePe技研公式YouTubeチャンネルにて近日公開！！



第11回 2026年キーパー技術コンテスト、まだまだ予選への出場できます！

6/5現在、4,991名の選手が予選に参加、全国67回の予選が終了しています。残り100回の予選があります。技術向上のため、経験値を高めるため、ぜひ出場をお待ちしています。お申込みは右のQRコードか

予選の申込みはこちらから！▶

